

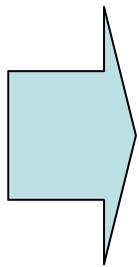
吉田横須賀市長マニフェスト 進捗評価報告

平成23年5月25日

吉田横須賀市長マニフェスト進捗評価委員会

報告の内容

- 1 評価方針
 - 2 評価基準
 - 3 評価結果
- おわりに



20分ほど時間をいただき、評価結果をご報告いたします。

1 評価方針

(1) 評価対象

- 吉田市長の掲げたマニフェストの評価は、「吉田横須賀市長マニフェスト進捗評価委員会」を組織し、掲げられた10行政分野(207事業)を対象に行うこととした。
- 評価は、各行政分野の「点数」と「達成率」を検証した。
- 各行政分野の合計点は、それぞれ異なっている(例えば、Ⅰの自然・環境は170点満点であり、Ⅱの医療・福祉は195満点など)。そこで、達成率を「100点満点で何点か」と捉えてかまわない。

10行政分野(207事業)

- ・ I 自然・環境「水や緑に親しめる横須賀へ」(34事業)
- ・ II 医療・福祉「いのちを大切にする横須賀へ」(39事業)
- ・ III 教育「ハコモノづくり」から「人づくりの横須賀へ」(25事業)
- ・ IV 地域経済の活性化「まずは、雇用。そして循環する経済を！」(38事業)
- ・ V 地域自治・市民活動の活性化「市民が主役のまちづくり」(16事業)
- ・ VI 市民サービスの活性化「市民の役に立つ所(市役所)」(11事業)
- ・ VII 市長の姿勢「熱い想いで、全力投球するべきです！」(7事業)
- ・ VIII 財政の再建「将来につけを残さない財政を」(18事業)
- ・ IX 市役所の改革「市民の声を聴く市役所に！ 相談できる市役所に！」(13事業)
- ・ X 「議会マニフェスト」を明らかにします(6事業)

1 評価方針

(2) 評価材料

- ・ ① 市担当課に、マニフェストに掲げられた各行政分野(各事業)について、過去2年間(平成21年度・平成22年度)における進捗状況を明記してもらった。その資料を評価材料とした。
- ・ ② ①の記載事項に関して、適宜、市のホームページ等による公開資料も評価のための補足資料とした。

1 評価方針

(3) 評価方法

- ・ 進捗評価委員会を組織し、各事業について、各評価委員が個別に評価を行なった。その後、合議により最終的な評価結果を決定した。
- ・ 委員は各事業について5点満点で採点するとともに、評価結果の理由を明示した。また、評価の結果から考えられる今後の課題等についても付すようにした（今回の報告資料と最終的な報告書は、後日、よこすかJCと吉田市長のホームページ等で掲載の予定）。

進捗評価委員会の評価者

- ・ 遠藤洋路・(株)青山社中共同代表
- ・ 金子林太郎・敬愛大学経済学部准教授
- ・ 牧瀬稔・(財)地域開発研究所主任研究員
- ・ 茂原純・(株)PHP研究所公共経営支援センター
コンサルタント
- ・ 山村俊弘・(株)日本アプライドリサーチ研究所主
幹研究員

※牧瀬が代表となり、評価結果をとりまとめた。

※評価者の1名は匿名を希望しているため、上記していない。

2 評価基準

- マニフェストに掲げられた各行分野の各事業の中で、条例制定関係以外については「評価基準①」を設定した。
- 一方で条例制定関係は「評価基準②」を設定した。

2 評価基準

評価基準①

評点	基準
0点	施策・事業に着手していない段階・予算等の措置を講じていない段階
1点	施策・事業に着手した段階・予算等の措置を講じた段階
2点	施策・事業の4分の1程度を達成したと判断される段階
3点	施策・事業について、2分の1程度を達成したと判断される段階 (4年間継続的に取り組む定性的な施策・事業は、今回は基本的に本評価となる。)
4点	施策・事業について、4分の3程度を達成したと判断される段階
5点	施策・事業をほぼ達成したと判断される段階

2 評価基準

評価基準②

評点	基 準
0点	全く検討していない段階
1点	検討のための組織(検討委員会等)を設置し、検討を行っている段階
2点	条例素案を公表した段階・パブリックコメント手続を実施している段階
3点	条例案を議会に提出した段階
4点	条例案が議会で可決された段階(条例公布)
5点	条例が施行された段階(条例施行)

この評価基準を用いて、過去、小田原市長、厚木市長、さいたま市議会民主党・無所属の会、自由民主党川口市議会議員団など、さまざまな首長や議会(会派)を評価してきた。

3 評価結果

総合評価
59.3 点

及第点の一つの視点



3 評価結果

I 自然・環境「水や緑に親しめる横須賀へ」

62.3点 / 100点満点

34事業あり、170点満点で、105.8点という結果である。

全体的によい評価である。各事業をみると「今のごみの分別収集について更に啓発を行います」が4.7点と高い結果となっているが、「都市緑地法の趣旨に沿った緑地保全制度を確立します。」(1.5点)など低い評価もある。低評価については、今後、着実な実行を求めたい。

3 評価結果

II 医療・福祉「いのちを大切にする横須賀へ」

56.7点 / 100点満点

39事業あり、195点満点で、110.5点という結果である。

この行政分野も及第点である。しかし、「横須賀市独自の医師・看護師養成のための奨学金として使用し、医師・看護師不足を解消します。」(1.0点)や「行政改革により捻出した資金を「いのちの基金」に積み立てます」(0.5点)などかなり低い評価もある。1.0点以下は改善を望みたい。

3 評価結果

III 教育「ハコモノづくり」から「人づくりの横須賀へ」

62.0点 / 100点満点

25事業あり、125点満点で、77.5点という結果である。

全般的にいい評価であるが、「インターネットによる相談体制を充実します」と「小児医療費の助成を拡充します」(ともに1.7点)など、動きが鈍い事業もある。

3 評価結果

IV 地域経済の活性化「まずは、雇用。そして循環する経済を！」

59.4点 / 100点満点

38事業あり、190点満点で、112.8点という結果である。

「神奈川方式を参考にして最低制限価格の決定方法を検討します」は5.0点であった。高評価がある一方で、「観光ゾーンを指定し、アーバンリゾートを創出します」(1.3点)などもある。また、「全体として雇用が拡大したのか」という検証もされたい。

3 評価結果

V 地域自治・市民活動の活性化「市民が主役のまちづくり」

55.2点 / 100点満点

16事業あり、80点満点で、44.2点という結果である。

「小栗上野介、ペリー、三浦按針などの「歴史上の人物役」を市民などから公募し、1年間務めていただきます」が1.2点と低い。評価の低い事業が進んでいない事業である。「なぜ、進んでいないのか」を検証して次につなげていただきたい。

3 評価結果

VI 市民サービスの活性化「市民の役に立つ所（市役所）」

50.9点 / 100点満点

11事業あり、55点満点で、28.0点という結果である。

他の行政分野と比較して低い評価結果であった。「窓口サービスのアンケート評価を継続的に実施します」は5.0点と満点であるが、この行政分野は、全体して低い点数が目立った。マニフェストにあるように「市民の役に立つ所」を目指して、より取り組んでほしい。

3 評価結果

VII 市長の姿勢「熱い想いで、全力投球するべきです！」

77.6点 / 100点満点

7事業あり、35点満点で、27.2点という結果である。

対象が「市長」であるため、全体的に高い評価結果となっている。しかし「倫理条例を改正して、市長や他の特別職の倫理基準を明らかにします」(1.5点)と低い数値もみられるため、より努力をもとめたい。

3 評価結果

VIII 財政の再建「将来につけを残さない財政を」

55.4点 / 100点満点

18事業あり、90点満点で、49.8点という結果である。

「消耗品等の市役所一斉たな卸しを行い、ムダを無くします」(4.5点)と高い評価である。一方で、「人件費や公債費を個々の事務事業に配分し、常に費用と効果を認識するとともに、進行管理の視点で事業計画と予算・決算のマネジメントサイクル化をします」などは1.5点と低くなっている。低評価は改善を求めたい。

3 評価結果

IX 市役所の改革「市民の声を聴く市役所に！ 相談できる市役所に！」

50.8点 / 100点満点

13事業あり、65点満点で、33.0点という結果である。

「幅広く人材を求め難局に当たる必要があります。年齢にこだわらず優秀な人材を登用します」は5.0点と高い評価である。一方で、「職員の名札(顔写真つき)は、その着用を徹底します」(1.0点)や「タイムレコーダーを導入します」(1.2点)などの低い評価もある。マニフェストの着実な実施を求めたい。

3 評価結果

X 「議会マニフェスト」を明らかにします

83.9点 / 100点満点

6事業あり、30点満点で、25.2点という結果である。

全体として高い評価であったが、「議長との定期的な会談をお願いいたします」(1.8点)が低い結果であった。

3 評価結果

総合評価
59.3 点

- ・ この数字は、4年間という市長任期の中間段階の評価として、おおむね順調であるということを示しているものと考えられる(50点以上が及第点と捉えている)。
- ・ 結果は、1035点満点で614点という結果である。総合評価としては、「**おおむね良好な進捗状況**」と判断できる。
- ・ マニフェストは市長の任期中に実現を目指すものである。任期後半においてさらに着実かつ積極的な取り組みを期待したい。

3 評価結果

	事業数	合計点	点数	達成率
I 自然・環境「水や緑に親しめる横須賀へ」	34	170	105.8	62.3%
II 医療・福祉「いのちを大切にする横須賀へ」	39	195	110.5	56.7%
III 教育「ハコモノづくり」から「人づくりの横須賀へ」	25	125	77.5	62.0%
IV 地域経済の活性化「まずは、雇用。そして循環する経済を！」	38	190	112.8	59.4%
V 地域自治・市民活動の活性化「市民が主役のまちづくり」	16	80	44.2	55.2%
VI 市民サービスの活性化「市民の役に立つ所(市役所)」	11	55	28.0	50.9%
VII 市長の姿勢「熱い想いで、全力投球するべきです！」	7	35	27.2	77.6%
VIII 財政の再建「将来につけを残さない財政を」	18	90	49.8	55.4%
IX 市役所の改革「市民の声を聴く市役所に！ 相談できる市役所に！」	13	65	33.0	50.8%
X 「議会マニフェスト」を明らかにします	6	30	25.2	83.9%
評価結果	207	1035	614.0	59.3%

おわりに

- ・ 評価結果は、100点満点で59.3点となっている。全体としては合格点であるが、各事業の差は激しい現状がある。つまり、評価の高い事業と評価の低い事業と二極化している。
- ・ 今後は、評価の低い事業を着実に高めていくことと、評価の高い事業については、一層の充実を求めたい(100点を目指すのではなく、120点を目指してほしい)。
- ・ これから市長は、市政の原動力ともなるべき、マニフェストの確実な実行に、さらにまい進されることを強く望みます。